



いしかわかずひさ
さんむ21 石川和久 議員

行財政改革について

問 財源確保に向けた、市の取組について伺います。

答 総務部長 健全な財政運営を行っていくためには、安定的な自主財源の確保が重要と考えます。そのためには、企業誘致や住みやすいまちづくりの推進により移住定住促進を図り、安定した市税収入の確保につなげるとともに、徴収率向上対策も継続して行っていく必要があります。

また、未利用となった公有財産（市有地や建物等）に関しても積極的に売却や貸付けを行うほか、公共施設等総合管理計画に基づく施設の適正配置を進めていきます。

問 県ホームページで公開している「市町村税の徴収状況等の概要」によると、県内の徴収率順位（令和2年度実績分）が、山武市は44位と掲載されていますが、市の見解を伺います。

答 市長 税負担の公平性を維持するためにも、まずは40位以内を目標に、さらなる徴収業務の強化を図っていきます。

問 収納率向上のための新たな対策について伺います。

答 市民部長 近隣市町で導入され始めた、休日や夜間でも一斉に電話でお知らせできる「自動音声電話催告システム」の導入を検討しています。

また、令和5年4月から始まる、納付書の地方税統一QRコード対応は、一部市税の納付場所が増える全国的な仕組みとして、納税者の利便性向上が期待できます。これは、従来、紙の納付書で確認していた収納管理もシステム化されるため、職員の負担軽減にもつながります。

問 自治体DXの推進に向けた、本市の取組方針を伺います。

答 総合政策部長 総務課および企画政策課が中心となって「自治体DX推進計画」に基づく

全庁的な工程表の作成・管理を行い、関係部署を整理して、組織横断的に連絡調整を図ることとしています。

また、現在策定中の第三次総合計画の体系に位

★自治体DXとは★

デジタル技術やデータを活用し、業務効率化や行政サービスの改善を進めながら、住民の利便性向上を目指す取組。DXは、デジタルトランスフォーメーションの略。令和2年12月には、国において「自治体DX推進計画」が策定された。

置づけることとしており、中長期的な視点で計画的に進めていく必要があると考えています。

子育て支援について

問 現在、こども園等の利用に係る保育料のうち、第2子分は半額となっていますが、第2子の保育料無償化の構想の有無について伺います。

答 保健福祉部長 山武市の保育所保育料は、国の基準よりも低い金額設定にするなど、他の支援をすでに実施していることから、現在のところ、第2子の保育料無償化を行う予定はありません。

問 人口減対策には、子育て支援の充実が重要であると考えます。新たな子育て支援策の予定について伺います。

答 市長 現在策定中の第三次総合計画の中で検討していきます。

問 本市における独自施策として、小中学校給食費無償化に取り組み考えるはあるのか伺います。

答 市長 市独自施策として全児童生徒の給食費を無償化するには、毎年、多額の財源を継続して確保する必要があります。そのため、市の財政状況も鑑み、検討する必要があります。

8月31日の報道発表によると、市町村連携の県事業として、第3子以降の公立小中学校給食費を無償化とする事業が開始されるとあります。

県でこの事業が開始されれば、本市で

もこの事業を活用し、市内小中学校の第3子以降給食費の無償化に取り組んでいきます。

道路整備事業について

問 なるとうこども園前から東金方面へ向かう、成東259号線道路改良事業の進捗状況について伺います。

答 建設環境部長 用地は面積ベースで約99%の取得となっています。起終点の交差点付近を除き、全線にわたって工事着手しており、一部区間については、完成し、供用を開始しています。

問 今後の工事予定を伺います。

答 建設環境部長 まず、なるとうこども園前の交差点の交通安全対策工事を、次に、起終点の交差点付近の工事とアスファルト舗装工事を予定しています。

なお、工事期間中、さんむ医療センター新病院建設工事と重なることが見込まれますが、双方の工程等の情報を共有したうえで、完成は令和5年度末を予定しています。

問 なるとうこども園前の交差点の安全対策工事の概要について伺います。

答 建設環境部長 道路照明の設置や道路横断歩行者の安全確保を目的とし、車線数を抑制するための置き基礎ガードレールの設置のほか、こども園側に向かう横断歩道の新設工事を予定しています。

また、保護者や園児を対象とした歩行

者安全対策として、こども園側に歩行者通路を設ける工事も併せて行う予定です。

(仮称) 山武パーキングエリアについて

問 圏央道パーキングエリアの予定地として、本市が選定された経緯を伺います。

答 総合政策部長 令和2年3月開催の圏央道休憩施設調整会議において、山武市域が候補箇所に選定されました。その選定要因としては、圏央道の千葉

県区間における休憩施設間隔のバランス、整備コスト、土地利用状況等の観点から、本市域が候補箇所となったと聞いています。

成田空港周辺地域における国家戦略特区について

問 成田空港周辺地域における国家戦略特区の概要について伺います。

答 総合政策部長 国家戦略特区とは、世界で一番ビジネスをしやすい環境をつくることを目的とし、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の緩和などを行う規制改革制度です。

千葉県では、農地の土地利用規制（農振除外要件および農地転用許可基準）の緩和などについて、成田空港周辺9市町（成田市・富里市・香取市・芝山町・横芝光町・多古町・栄町・神崎町・山武市）を対象に提案しています。



議員 萩原善和 さん 21

マイナンバーカードの普及促進について

問 自治体DXを推進するために、マイナンバーカードの普及促進は必要不可欠と考えます。本市のマイナンバーカード交付状況を伺います。

答 市民部長 本年8月末時点で、交付累計が2万1231人、交付率が42.90%です。なお、県平均の交付率は、48.31%です。

問 市民の中には、マイナンバーカード取得後のカード紛失や盗難を不安視する声もありますが、対応について伺います。

答 市民部長 マイナンバーカードのICチップおよび券面には、住所・氏名・生年月日など、必要最低限の情報のみが記録・記載されており、プライバシー性の高い税金や年金、口座情報などの個人情報、カード自体に記載されていません。

もし紛失してしまっても、24時間365日対応のコールセンターに連絡することで、カードの一時停止措置を受けることができます。

(仮称) 山武パーキングエリアについて

問 圏央道休憩施設整備事業における事業予定地および進捗状況を伺います。

答 総合政策部長 令和2年6月、事業主体であるNEXCO（東日本高速道路株）から整備方針が発表され、その整備箇所としては、山武郡市環境衛生組合の北側付近を想定していると聞いています。

昨年10月には、市とNEXCO共催による地形測量等に関する地元説明会を開催しました。現在は、施設規模等の整備の方向性を取りまとめる概略設計業務が開始されており、設計に必要な地質・地盤調査は本年9月から実施予定であると聞いています。

問 地域活性化の一助とするべく、山武市をPRできるような施設づくりをNEXCOに要望すべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 市長 市では、整備方針が示される前から、山武市域へのパーキングエリア設置を要望してきました。そして、整備方針発表後も、市の意向を伝えるため、関係各所と相談のうえ要

望書提出の準備を進めています。

今後、NEXCOと具体的な調整を行い、できるだけ限り、我々の望む方向性を入れていただけるよう、しっかりと要望していきたいと考えます。

成田空港周辺地域における国家戦略特区について

問 県の提案のとおり国家戦略特区に指定された場合の、農地の土地利用規制緩和措置を受けられる地域範囲について伺います。

答 総合政策部長 成田空港周辺の9市町におけるインターチェンジから半径3キロメートル以内、国道と国道の交差点から半径3キロメートル以内、空港ゲートと一般道の結節点から半径5キロメートル以内の、まちづくりの方針に沿った施設が対象になると聞いています。

ただし、この国家戦略特区の指定を受けた場合でも、規制緩和の活用にあたっては、諮問会議による具体的な事業計画の審査を受ける必要があります。

問 現在の進捗状況を伺います。

答 総合政策部長 現在、民間有識者が主導するワーキンググループにより調査・検討が行われており、その中では、規制緩和の必要性や規制緩和が実現した場合の効果など、さまざまな議論が行われています。今後も、特区の指定に向け、県および関係団体と連携し、しっかりと対応していきます。